

府勢3高校 歓喜 そろって金賞

全日本マーチング

大阪城ホールで18日に開かれた第25回全日本マーチングコンテスト(全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)の高校以上の部で、関西支部代表として出場した箕面自由学園、大阪桐蔭、淀川工科はいずれも金賞に輝いた。

箕面自由学園

箕面自由学園は2年連続の金賞。今しかない高校生



箕面自由学園

の輝きを表現したいと、真島俊夫作曲の「輝ける時」

など3曲を演奏した。「ワンバンド、ワンサウンド」をモットーに全員で音楽を作り上げてきた。サンバのステップで盛り上げ、校名の頭文字「M」を隊列で作り、観客を魅了した。ドラムメジャーの河野一騎さん(3年)は「苦難を乗り越えてきた仲間と演奏できて幸せ」と喜びを分かち合っていた。

大阪桐蔭

アーノルド作曲の「女王



大阪桐蔭

への忠誠」などを演奏した大阪桐蔭は4回目の出場。オーボエのソロに木管楽器のアンサンブル、合唱を絡めたハーモニーを奏でた。終盤、横に並び前進するダイナミックな隊列で圧倒した。マーチングリーダーの大槻花鈴さん(3年)は「これまで練習してきた全てを出せた」と目を潤ませた。

淀川工科

淀川工科は17回目の出場で3年連続の金賞に輝いた。「ハイデックスブルグ万歳」など4曲を披露。しっとりとした曲で演奏を始め、マーチで曲調を変えるなど、会場から拍手が起った。「動くコンサート」をテーマに、隊列の動きで演奏を引き立てながらも、



淀川工科

音の強弱など音楽を大事にしてきた。最後は、恒例の「六甲おろし」で観客を沸かせた。ドラムメジャーの比嘉健人さん(3年)は「元気はつらつに演奏できた。ほんまに楽しかったとしか言えない」と笑顔を見せた。(小林孝也)